

# NICT総合テストベッド活用研究会

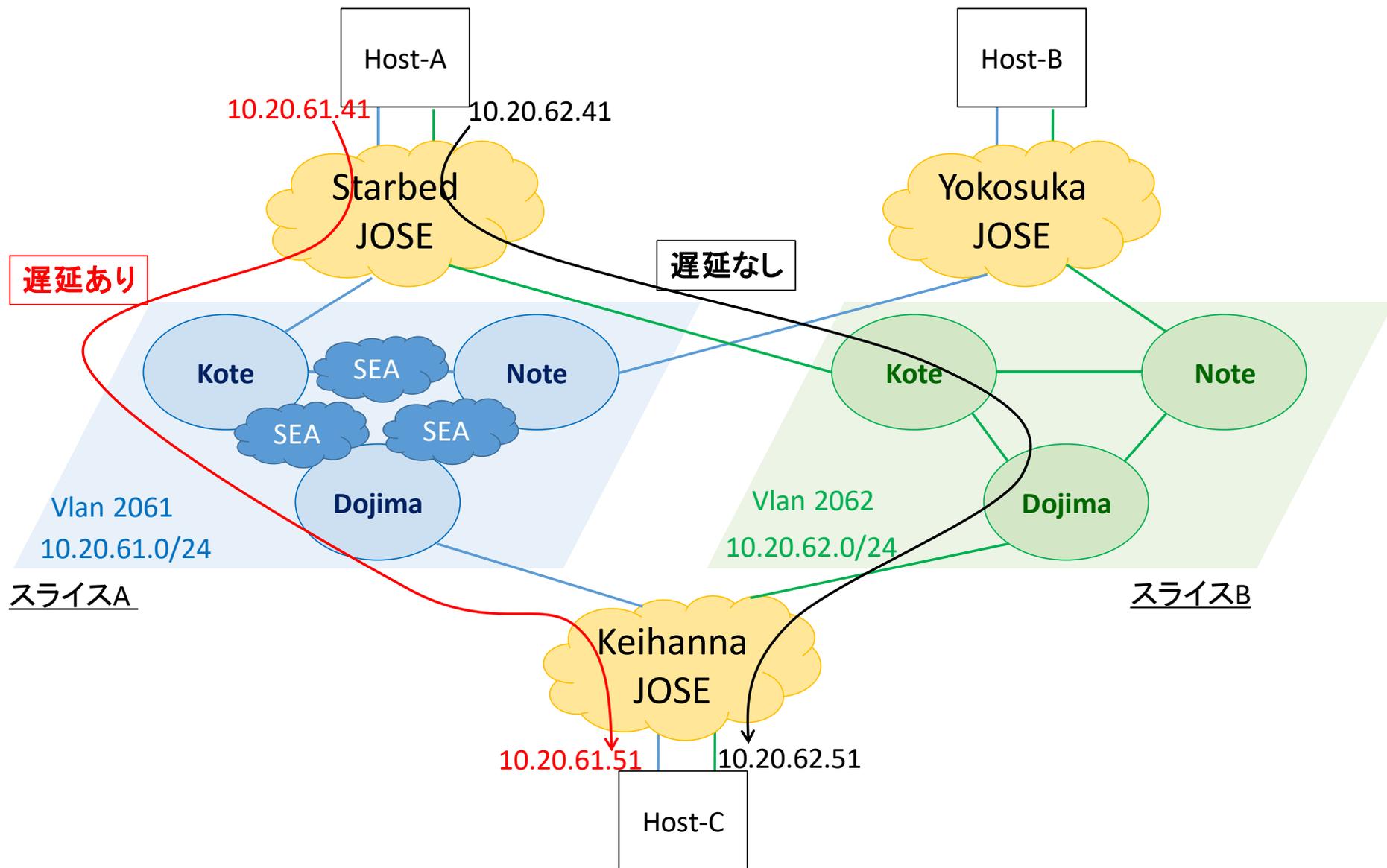
---

テストベッド分科会活用研究会  
事務局

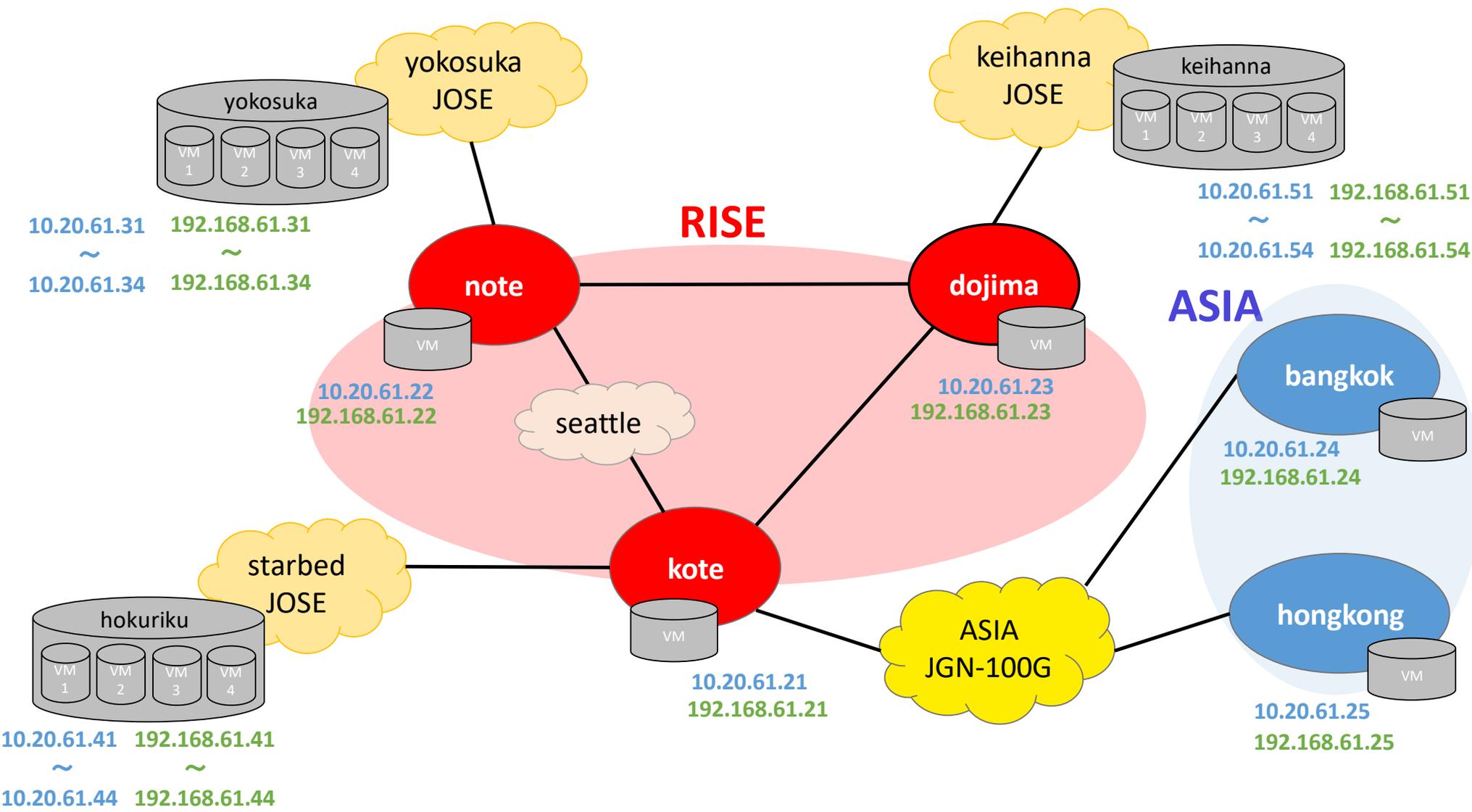
# NICT総合テストベッド運用環境の整備

- VM間のログイン簡略化
  - ログイン後、各VMへのログインをユーザ負担なしにできるよう変更
  - ユーザ側・運用側の負担を軽減すべく、環境設定変更。情報共有ポータルにログイン方法表示
  - ログインセッション維持中にはインターネットへのアクセスが可能に
- ホスト名の名称変更
  - ホスト間で相互に参照できるよう、ホスト名をDNSから解決できるよう設定。
- OSアップデート、バックアップ環境の整備
  - OSアップデート・バックアップ方針を策定
  - 運用手順書を作成
- VMのステータス可視化 → <http://wiki.jgn-x.jp/tb-bkk-lab/?VMリソースモニタリング>
  - CPU、メモリ、ストレージ の状況を、情報共有ポータルに表示
- VLAN構築
  - VLAN構築
- ネットワーク環境に関する情報充実 → <http://wiki.jgn-x.jp/tb-bkk-lab/>に掲載
  - ネットワーク環境に関する情報を集約し、情報共有ポータル に表示
- アジア拠点へのVM追加、スライスの追加
  - アジア拠点におけるVM追加(バンコクー香港)

# VLAN構築



# アジア拠点へのVM追加、スライスの追加



# Docker利用環境の整備

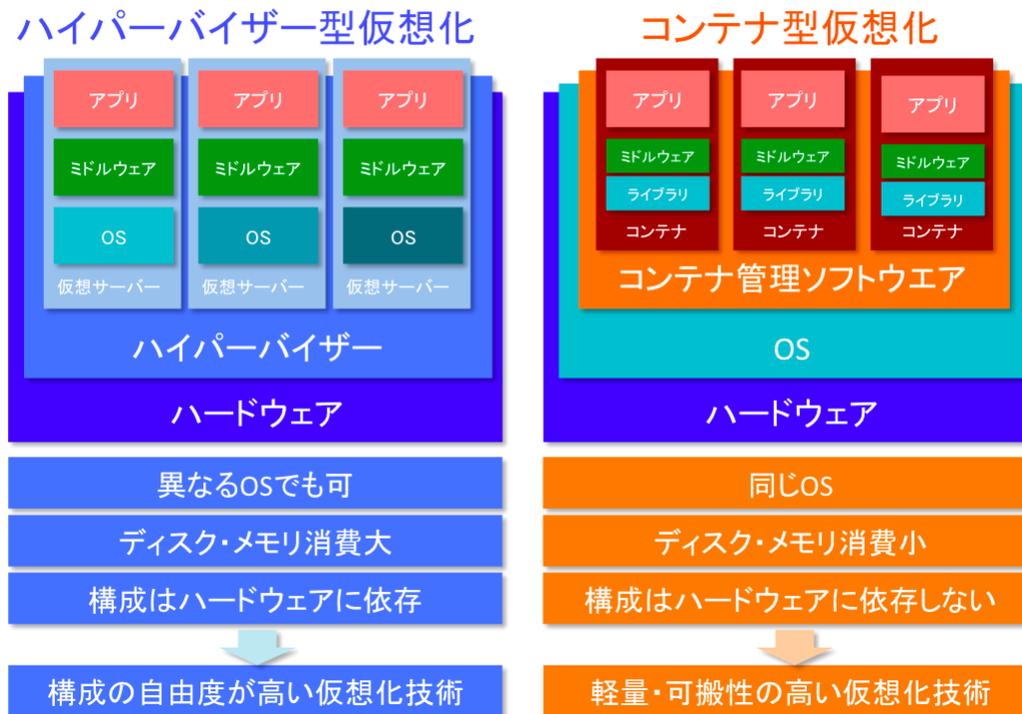
## • Docker利用環境の整備

### • 環境の試験構築

- 仮想マシンよりも必要メモリ・起動コストが低く、負荷に応じてサーバを起動・停止するオートスケーリングに向いている。

### • 構築マニュアルの整備 → Wikiにも掲載

#### コンテナ型仮想化と「Docker」



# 利用者ニーズ調査

## アンケートから見えるICT/IoTサービスへのニーズ

IoT推進コンソーシアム会員へのアンケート調査結果(2019年2月実施)

**研究者・提供者はアプリケーション開発・データ分析ツールや基盤ネットワーク、通信環境を求めている**

研究・開発・提供・企画者のうち、アプリケーションレイヤーでは、アプリケーション開発ツールや通信環境のニーズが高い。ICT/IoT基盤レイヤーでは、基盤ネットワークや通信環境、データ分析ツールへのニーズが高い。

**利用者は自社データの収集サービス・製品やデータ分析アプリケーションを求めている**

ICT/IoT技術の利用者からは自社データの収集サービス・製品やデータ分析アプリケーションへのニーズが高い。自社で理解し、運用できるものが望まれていることが伺える。

**既存のICT・IoTサービス利用者がサービスに求めることは①導入の即時性 ②導入・操作の容易性 ③廉価**

既存のICT/IoTサービスを利用している人は、①導入の即時性、②導入・操作の容易性、③廉価を求めている。

**IoT技術を進めるための取組として実証支援への関心が高い**

ICT/IoT技術の研究・開発・提供・利用を推進するための取り組みとして実証支援やビジネスマッチングのようなビジネスにつながる取り組みへのニーズが高い。コンテストは製品・サービス開発・提供者からの関心が高い。

# 今後の予定

## 「総合テストベッド」の特徴を活かし、活用方策を検討

- **データを活用可能なテストベッド環境の整備**
  - ＜具体的方策(例)＞
    - ニーズの高いデータ、活用可能なデータに関する調査
    - データ保有組織との連携
    - 活用研究会においてデータ活用可能とするための環境検討 等
- **データの保有者・データ収集技術保有者・データ分析技術保有者の橋渡し**
  - ＜具体的方策(例)＞
    - ハッカソン
    - データ分析コンテスト  
(データ保有者からデータ提供、分析者を募集)
    - IoT関連コミュニティでの試用促進 等